

～子どもたちは今・・・～



たまご組(0・1歳児)

子ども達一人一人に寄り添った丁寧な保育をするために、3～4名の少人数のグループで過ごしているたまご組。食事や排泄の場面では、担当の保育者が関わることで子どもたちの好みや食べる量、排泄の感覚を把握し、子どもたちが安心して過ごせる居場所を作っています。

この時期さらに保育者との愛着関係が形成された安心感の中、落ち葉のプールや虫探し等、好きな遊びを存分に楽しむ姿が増えてきました。また、友だちの名前を呼んだり、友だちと関わるのが楽しいという姿もたくさん育ってきました。

みんなで過ごす時間も増え、11月は「かおかおどんなかお」や「どんぐりころちゃん」などの絵本や、「やきいも」「おちば」等の手遊びをみんなで楽しみました。

12月はクリスマスの手遊びや歌を楽しみ、1日1日増えていくアドベントカレンダーの飾りを見ながら、アドベントの期間を大事に過ごしていきたいと思います。



ことい組(2歳児)

たくさんの初めてを経験した11月の子どもたち。大きいクラスといっしょに音楽の日を楽しんだり、クッキングをしているすみれ組を見学したり、アドベント礼拝にも参加しました。【見る、聴く、一緒に歌う】体験をしました。初めての音楽の日は、ちょっと緊張している姿もありましたが、「おはよう」「ハッピーチルドレン」等を歌っていくうちに自然と笑顔になっていました。「さんぽでパタポン」「クリスマスの歌がきこえてくるよ」などの新しい歌にも出合いました。ホットタイムや遊びの中で口ずさんで楽しんでいきます。

戸外では、秋の自然に触れながら、遊びの広場から園庭まで思いっきり走る姿やぴかぴかどんぐり探し、落ち葉遊びに夢中になっています。室内ではピースの多い少し難しいパズルにも何度も挑戦して、自分でできた喜びを味わっています。

アドベントの期間、クリスマスの讃美歌や歌、絵本に触れ、お部屋の飾りも作ったりして、4本のローソクが灯るクリスマスの日をみんなで楽しみに待ちながら過ごしたいです。



すみれ組(3歳児)

月刊絵本【とんだとんだ はっぱがとんだ】から、「紅葉した葉っぱを見つけよう！」と【赤・黄色・茶色】の葉っぱ、色が混ざっている落ち葉を集め、落ち葉をプールに見立てて秋の自然に全身を使って遊びました。すると絵本から「【もりのおふろ】を作ろう！」と、段ボールを長くつなげて、クレヨンで絵を描き、皆で入れるお風呂を作りました。「お面も欲しい」と、好きな動物のお面をクレヨン・ハサミを使って作り喜んでかぶりました。絵本に合わせて皆で「ごしごししゅっしゅ」と声を合わせ、絵本の世界【もりのおふろごっこ】を楽しみました。次に「【もりのおふとん】の本見つけたよ」「読んで」「もりのおふとんごっこもしたい！」の声、大きな紙を使って大きな布団に見立て、色を塗り全員でお布団にゴロン。次から次へとやりたいことが膨らんでいました。

アドベント礼拝やアドベントカレンダーからも、クリスマスに向けて、「サンタさん作りたい」「今度何作る?」「絵の具もやりたいな」と意欲的です。【みんなで】を意識しながら様々な経験を積み重ねて、楽しんでいきたいと思います。



ひつじ組(4歳児)

「みんなで一緒に楽しみたい！」気持ちがあふくらんでいるひつじ組。11月の月刊絵本「こざるのるすばん」の世界から、ひつじ組みんなで入れる大きな温泉を作って、こざるやお客さんになりきり、「こざるのおんせんごっこ」を楽しみました。戸外でも寒さに負けることなく、落ち葉をたくさん集めて温泉を作って遊んだり、竹ぼうりに継続して挑戦したり、秋の自然をたっぷり味わいながら、心も身体もホッと温まるひとときを過ごしました。また、クッキングの経験から、ダンボールでコンベックを作り、南天の実や葉っぱを具材に見立てたピザを焼いて、「ピザ屋さんごっこ」も楽しみました。1組も2組も一緒になって、「みんなで過ごす」ことが楽しい毎日です。

11月25日からアドベントに入り、クリスマスに向けての準備を始めています。ひつじ組は、4つの世界のクリスマスを通して、みんなでクリスマスの喜びを伝えます。日々の活動の中で、クリスマスの意味を知り、たくさんの讃美歌に触れながら、心より待ち望むクリスマスになってほしいと願っています。



ほし組(5歳児)

11月25日からアドベントの期間に入り、ほし組では【クリスマス会議】をしました。相談内容は、「ページェントの役決め」です。

園長から絵本『みんなのクリスマス』を読んでもらい、ページェント（降誕劇）について知った子ども達。先生が配役を決めるのではなく、子ども同士で「自分が何をやりたいか」「ほし組31人みんなでやる為にはどうしたらいいか」意見を出し合いました。

配役が決まり、台詞や讃美歌などこれから覚えていきます。「楽しみだね!」「絶対、ドキドキに負けないで挑戦しようね!」という会話が聞こえてきました。今までの色々な挑戦（ほし組キャンプやカーニバル、竹馬等）から得た自信を持って、これから友達と励まし合ったり、称え合ったりしながら練習していきます。

また、戸外では竹馬挑戦も継続中です！1歩ずつ長い距離が歩けるようになったり、高い竹馬に挑戦したり、横歩きの技を極めたり…それぞれ、少し難しい事でも自分の目標に向かって頑張る事が「楽しい!」と思えるようになっていきます。



預かり保育(3・4・5歳児)

おやつ後に、ほし組が集めてくれた落ち葉で作ったプールで遊ぶことが、今のお気に入りの遊びです。あそびのひろばで、全身で思い切り葉っぱの感触を楽しんでいます。

鬼ごっこや「はないちもんめ」などの群れ遊びは、年齢に関係なく「入れて」「いいよ」と誘い合って、気づくと人数がいっぱいに増えて遊んでいます。転んでしまった子に「大丈夫?」と声をかけて、服についた葉や土を払ってあげたりする姿もあります。自分の遊びを中断して、友達の心配をしてあげることが当たり前に行えるのは、心が育っているからですね。

ほし組の頑張る姿ややさしい姿を、ひつじ組やすみれ組はよく見えています。先日、トイレのスリッパをきれいに揃えてくれたほし組の姿を見て、すみれ組の子が自分からスリッパを揃えていました。こうやって受け継がれていくのですね。